

校内研修基本方針

1 基本方針と姿勢

- (1) 教師自身の専門職としての力量を磨く自主的・積極的研修
- (2) 「個に応じた」教育活動を行うための共通理解・相互理解を育む研修

2 研究テーマ

『振り返り』により学びに向かう力を高める

3 研究・研修の内容

(1) クロームブックの利活用

- 「振り返りシート」の活用でつますきの分析と学力向上に努める
- 活用方法の共有し合い、生徒の学びを深める活用

(2) 授業と個別の指導のメリハリをつける

- ① 構造的な板書で学習の足跡を残す。
 - めあてカードなど学習規律の統一（小・中）
 - 学習課題とまとめを明確にし、主発問を練り、考える活動を仕組む。
- ② 子供に考えさせるための例示を準備しておく。
 - 子供の力、発達の段階に応じて、「考える視点のみ」、「具体的な例」、「やってみる・見せる」などを考え、示す。
- ③ 授業の最後に、本時に指導したことの習得状況を評価する手立てを講じる。
 - 指導と評価の一体化を図り、子供の習得状況に応じて単元計画を修正する。
- ④ 学び直しが必要な教科、内容を洗い出し、対応する。
 - はげみタイム（中学校のみ）の内容を計画し、時間をかけて個別学習を行う。

(3) 体力向上への取組から、学習意欲の向上へ

- ① 週3回、授業前に脳にスイッチを入れる簡単な運動を設定する。
- ② 昼休みにおける体を動かす遊び、昔遊びの活性化
- ③ 学習規律の徹底

(4) 授業を見せ合い、良い取組と課題改善の手立てをリレーする

- ① 年間1回以上の授業公開（小・中の別なく見合う）
- ② 効果的な取組と課題の明確化、課題の改善検討
- ③ 1年後に期待する子供の姿のイメージを共通理解し、効果的な課題改善は共通実践とする。

4 年間計画

研 修 内 容	年間の主な交流学習・行事等
○クロームブックの利活用 ○カリキュラムマネジメント ○研究全体構想と年間計画 ○児童生徒の実態把握 ○授業公開及び、研究協議 ○学習指導方法の工夫・改善 ○研修報告及び、指導方法の確認・改善 ○研究のまとめと次年度の方向性の明確化	・「長崎っ子の心を見つめる」教育週間 ・平和学習（小学生・中学生） ・体育祭（小学生・中学生） ・小体会（小学生） ※本年度該当なし ・小学校音楽会・連合音楽会 ・修学旅行（小学生） ・高校入試（中学生） ※本年度該当なし ・歓迎遠足・クラブ活動（小学生） ・部活動・中総体（中学生） など